

小学生に大人気！！職業体験イベントで海上保安庁PR！！

～夏休み 2019 宿題☆自由研究大作戦～

東京海上保安部は、7月30日（火）～8月1日（木）の3日間にTRC東京流通センター（東京都大田区）で開催された、職業体験型イベント「夏休み 2019 宿題☆自由研究大作戦」にサポーターとして参加し、ブースを出展しました。

本イベントは、一般社団法人日本能率協会が2015年から毎年夏休み期間に開催しており、将来の日本を担う子どもたちを育成することを目的に東京消防庁、伊藤園など官民50企業・団体がブースを出展し、それぞれ毎年多くの小学生とその保護者に対し、工夫を凝らしたプログラムや熱いPR活動などを展開しています。

当部のブースでは、「目指せ！！海のレスキュー隊！！～海上保安官の仕事を知ろう～」をキャッチフレーズとし、海上保安業務を紹介する写真パネルの展示、制服の試着体験、ライフゼムなどの救難資機材の展示および装着体験、着ぐるみ「うみまる」「うーみん」によるPR活動のほか、体験プログラムとして20～30代の若手職員を講師とした学習（座学）方式の海上保安業務教室と実際のヘリコプターによる救助活動で使うエバックハーネスなどの救難資機材を使用した吊り上げ救助体験教室を行いました。



海上保安庁ブース内でのPR活動状況



若手職員と「うーみん」による海上保安業務教室

両教室では、午前の部に小学1年生から3年生までの低学年と午後の部に小学4年生から6年生までの高学年各10人の小学生とその保護者を参加者として事前に抽選していましたが、ブース内には抽選に落選した多くの小学生と保護者がキャンセル待ちをするほどの人気ぶりでした。

両教室に参加した小学生と保護者から、「海上保安庁の体験プログラムを楽しみにしていたので、参加できてうれしいです。これからも海上保安庁を応援していきたいです。」「今まであまり海上保安庁のことを知らなかったのですが、大変わかりやすい説明だったので、子供にとっても大人にとってもいい勉強になりました。また、海上保安庁のブースを出展しているイベントがあったら参加したいです。」などのうれしい言葉をいただきました。

同イベントの全体来場者数は、3日間で約1万2000人でしたが、海上保安庁のブースには、3日間とも多くの家族連れが訪れて大盛況でした。



エバックハーネスなどを使用した吊り上げ救助体験



制服試着体験、「うみまる」「うーみん」との記念撮影

今年も一定の成果をあげた「夏休み2019 宿題☆自由研究大作戦」におごることなく、来年はさらに創意工夫を凝らしたPR活動を企画し、海上保安業務への理解をより一層深めたいと考えています。

東京海上保安部

【お知らせ】

「夏休み2019 宿題☆自由研究大作戦」では東京海上保安部のご協力をいただき、日本海難防止協会で作成した「海と安全」No.581「海ごみをみんなでなくそう」を海上保安業務教室で教材として活用いただきました。

「海と安全」をご活用ご希望の方は、日本海難防止協会のホームページよりダウンロードの上、ご活用下さい。

なお、毎年6月15日に配信しております「海と安全」夏号につきましては、配布用の印刷物もありますが、発行部数に限りがございます。活用ご希望の方は当協会までお問い合わせ下さい。

【お問い合わせ先】

公益社団法人 日本海難防止協会
〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-1-3 磯村ビル6階
TEL (03) 3502-2231 FAX (03) 3581-6136
E-mail 2231jams@nikkaibo.or.jp
URL <http://www.nikkaibo.or.jp>

